

＜体育会所属の Y さん＞

まずは、教育学コースを選んでくださりありがとうございます！教育学コースにおいて部活動生はなかなか珍しく、先生方や周りの友達もすごく応援してくれるのでとても居心地が良いです。どうしても部活動の関係で都合を合わせられないときがあっても、本当に理解がある方ばかりなので私もここまでとても助けられました。また、私の場合、友達作りでめちゃくちゃ重要と言われていた春のコース合宿に参加できず、これから独りぼっちで授業を受けることを悟りましたが、優しく話しかけてくれる方が多くて救われました（笑）。先輩も同級生もみんなフレンドリーです！

皆さんの中には何かしら学びたいテーマがあってここに進んだ方というのが多いのではないかと思います。私が教育学コースを選んだのは人気の「教育、社会学、心理学」のどれかがいいなと思い、何となく一番イメージしやすかったからです（笑）。このような人間でも今では非常にやりがいを感じているので、全く知識もないし大丈夫かなと思っている方も安心してください！そして不安なことがあるときはぜひ気軽に先輩たちを頼ってみてください！これから皆さんと一緒に学んでいけるのをとても楽しみにしています！

2 年春学期の時間割

	月	火	水	木	金
1					
2				学校教育学	
3	教育学概論 1	教育学演習 7 (地域教育論)		キリスト教概説	
4	社会学の考え方 1	子どものころ (発達心理学)		障害学	
5	日本演劇史	教育学演習 1			

オンデマンド：古典ギリシャ文学

履修のススメ

私は体育会の部活動に所属しており、平日は火～金曜日に朝練習(6:00～)と本練習(15:00～)があります。また、活動拠点である所沢キャンパスのそばに住んでいるため、戸山キャンパスまでは片道90分を要します。そのため、1限があれば30分朝練を早めて開始し、3限以降だと本練習の集合には出ずに帰宅してから各自で練習を行わなければなりません。

そこで私は全休の日を多く作るために、必修やコース科目がある曜日に授業を固めることと、なるべく部活を休まずに済むようにオフの月曜日に多く授業を入れることを意識して組みました。また、日没が早くて寒い秋学期は練習がしづらいため、春学期に詰め込んで秋学期に余裕を持って組むようにしました。そのため、マイルストーンを参考に、春に内容よりも楽単を、秋に楽単より内容を重視して取りました。

1年生の間は必修が多く、2年になるとようやく好きにとれる授業が増えるかと思います。ことばの響きはあまりよくありませんが、楽単という理由だけで選択するのも、自分の関心のあるジャンルを容易に広げられると解釈し、私はありなのではないかと思います。また、コース科目については自分のゼミと関連することも多くあるので、そこで学んだことや資料をゼミで活用することもおススメです。

部活動

私はこれまで3つすべて異なるゼミに所属してきましたが、発表準備等で春学期よりも秋学期の方が取り組むことは多くなる印象です。また、ゼミの時間外で研究の話し合いや発表準備等に取り組むこともあります。今年度は新型コロナウイルスの影響によりオンラインツールが定着したことで、これからはどうしても部活で疲弊して…といったようなときでも対応はしやすくなるのではないかと思います(笑)。

また、教育学コース自体とは関係ありませんが、私の部活の場合は部員の大半が所沢キャンパスにある学部生です。彼らとは授業がある日の移動の往復3時間分、時間の制約が生まれてしまうわけですが、高田馬場のキャンパスの方がいいなと言う人は多く、私も文学部、そして教育学コースで良かったなと感じている理由は多々あります。私の場合は移動の時間で強制的に課題に取り組むことで、家でなるべく課題に取り組むことがないようにしています。また、履修できる授業の選択肢も多く、授業で練習を欠席する日は帰りに都内の治療院に行ったり、そこでご飯を食べて帰ることができたりといったように、通称・本キャン生ならではのメリットがたくさんあると感じています。